

壽

こてぶき第67号

〒630-0266生駒市門前町8-7
電話 0743-74-1175
FAX 0743-74-0452

発行元 特別養護老人ホーム 梅寿荘 / 養護老人ホーム 梅寿荘
はーとほーと 梅寿荘

http://www.baijusou.jp/
E-mail: baijusou@kc.n.ne.jp

編集長/栗本 喜里仁
2013年7月 発行

端午の節句



目次

- ユニツト新年度目標...2p. 3p. 4p
- 春の各種行事より
- 「お花見」...5p
- 「花まつり」「お茶会」...6p
- 医務室・栄養課より...7p
- おでかけ日記...8p

「花扇太夫」

施設長 辻村 泰範

琴の演奏にあわせ、能舞台の橋掛かりを一步、いつばと静かに歩みを進める島原の太夫。京都の遊里、島原の花扇太夫は正面をみつめたまま悠然と進んで能舞台の正面に立つと、おもむろに舞を披露して話を始めた。いさか義理立てで参加した講演会で、伝統文化といえ遊郭の太夫の話だろうかとタカを括って話を聞いていたのだが、どこい途中からはぐいと引きずり込まれてしまった。それも彼女の凄まじい闘病生活のくだけりである。

三歳から日本舞踊を習い始め、短大を出たあと幼稚園の教諭をしていた彼女が、ふとした縁で途絶えそうになった太夫の文化を継ぐことになって、厳しくもまた華々しい生活が六年前一瞬にして奈落の底に落ちてしまったというのである。

救急車で搬送されて気がついた時には、右半身が麻痺を起こして全く動かない。脳出血で倒れたのである。家族は医師から退院しても後遺症が残って生涯自分で歩く事はできないだろうと告げられたという。惨めな自分の姿を知って、泣き叫び自暴自棄になったという。しかし目前で舞をまっただ花扇太夫は、まさにその人である。奇跡を起こしたのは、「病気になるっても病人になってはいけない」「絶対に復帰する」という前向きで諦めない自分の気持ちだという。勿論大変なりハピリの結果でもあるが、彼女の不撓不屈のプロ根性に感服してしまっただ。満場の拍手に包まれたのには言うまでもない。

『ユニット新年度目標』

パズラーユニット

ユニットリーダー 岩田 一哉

スタッフと利用者との安心できる、人間関係の構築や、個別処遇の充実を計り、ご利用者が笑顔で生活できる様支援していく。実践していく一つとして、利用者中心の生活を育むケアに努め、一人一人の個性や生活リズムに合ったケアを充実させる事でご利用者にとってより良い一日が過ごす事が出来る様今後取り組んで行きたいです。



コスモスユニット

ユニットリーダー 中井 基行

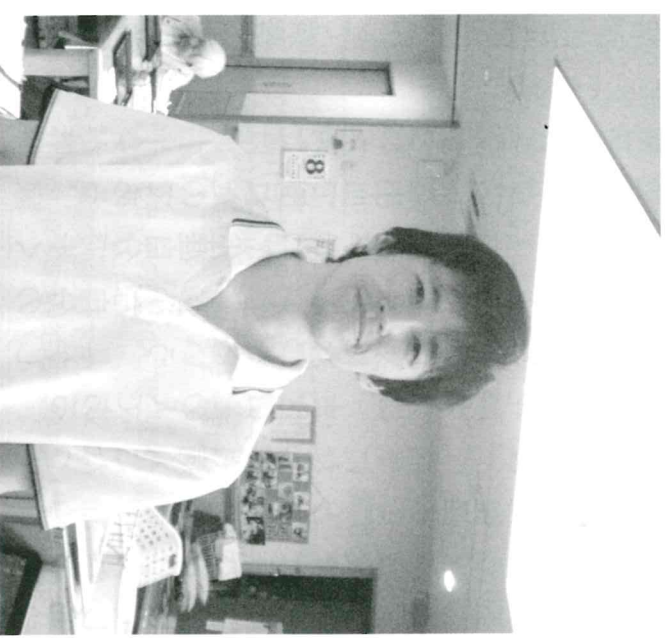
昨年度はご利用者に寄り添い、しつかりと「知ろう」と言うことを目標として参りました。趣味嗜好や、それぞれの方のニーズが徐々にわかってきたように思います。今年度の取り組みとしては、皆様が個々にやりたいなと感じておられることに対して、できる限り支援していきたいと考えております。その為にも昨年同様「知る」ということを大切に継続します。そしてご自身で今どのようなことができておられるのか、今後どのようなことがご自分の力で出来るようになるかをしつかりと考えます。安全且つ自分らしい生活を送って頂けるように、ご家族のご協力を頂きながらチームで話し合ってまえに進んでいこうと思っております。



すいせんユニット

ユニットリーダー 村上 尚

すいせんユニットの村上です。一昨年に特養に異動し、それから瞬く間に2年余りたちました。まだリーダーとしてはおこがましく、特養職員としてもいたらなさを感じる毎日ですが、周囲の皆さんに支えられて業務に努めています。個人の価値観だけにとらわれず、意見を柔軟に取り入れて、居心地のいいユニットにしていきたいです。そして、ご利用者との日々の生活の中で、少しでもきらきらした瞬間を一緒に経験できればと思っています。





サルビアユニット

ユニットリーダー 倉 美千代

私が担当しているグループは8名は女性ばかりのとても明るく、いつも笑いの絶えません。毎月の戸外買物には必ず参加される方や、お部屋で折り紙をされたり、百一歳でタオル干しや畳みをお手伝いしてくださる方や、毎日ではないけれども昼はビールを飲んで過ごされる方などそれぞれが自由に一日を過ごされています。

お茶の時間になるとテイルームへ自然に集まって好きな飲み物を飲んでテレビを観たりされています。出来る限り家と同じ環境で暮らして頂く様に努力しています。

とても難しいことですが、**施設でしか出来ない在宅以上の事**はあると思います。それは職員一人々と深く関わる事で「いつもと違う」異常に早く気がつき易く、早めに対応する事ができ重荷化を防げる利点が大きい。もう一つは昼夜を通して常に職員が施設について転倒すればすぐに起こしてくれるし、トイレに行きたいと言われたらすぐに対応してくれる。365日24時間安心して過ごしてもらえます。**「安心というサービスを提供出来る事！」**

私達は安心というサービスと、活き活きと過ごして頂く為、あたりまえにごく自然に、介護出来る様、是からもスタッフと共に時間を過ごして行きたいと思えます。

カトリックユニット

ユニットリーダー 植田 昌樹

ご利用者の皆さんに今年1年どのようなように過ごしていきたくか質問をすると「自分らしく元気に過ごしたい!」「いっぱい笑って過ごしたい」と答えて下さりました。このような思いに込められるように、ご利用者さんの少しの体調変化にも気付くように心がけていきたいです。また、生活の中で笑顔を引き出せるよう、日常生活と余暇活動を大切に支援をしていきたいです。ご利用者の皆様とご家族が安心して生活が送れるように本年も職員一同今まで以上にサービスの研鑽に努めてまいりますので、よろしくお願ひします。



あじさいユニット

ユニットリーダー 上平 昇兵

紫陽花の花言葉のように、「美しく、元気な女性」が入居されているユニットです。1本の紫陽花でも、沢山の花が映くように、ご入居者一人ひとりに沢山の二一アがあります。そんな多様な二一アにお応え出来るようまた、時には「移り気」な紫陽花の花の色のような心に、精一杯の「辛抱強い」愛情「で寄り添い、安心して過ごして頂けるよう努めます。

また昨年度から新年度にかいけ、両ユニットで4名の二ユーリエイヌがかわり、明るかったユニットがさらに、華やかさを増しました。今まで以上により一層チームワークを深め、13人の資格(刺客)者で、明るく、楽しく、そしてみんなが動きやすい職場環境を、目指したいと思えます。



ひまわりユニット

ユニットリーダー 政西 恵美

ひまわりは女性8名のグループです。
毎日の生活の中で「梅寿荘に来て良かった」と感じられるような生活であってほしいと考えています。
そのため、ご利用者やご家族と日頃から意思の疎通を図り、話しやすい関係を築けるように努めています。旬の食材を使った食事作り、行事にちなんだおやつ作り、季節の花を植える事などに取り組み、五感を刺激して頂きたいです。
また、個人のニーズに合ったレクリエーション(身体を動かす散歩、思考力を刺激するカルタやパズルや早口言葉など)を提供しています。日々の生活の中でご利用者の楽しみが一つでも増えれば嬉しく思います。これからもスタッフ一同頑張りますので、よろしくお願ひいたします。



さざんかユニット

ユニットリーダー 大西 礼子

個人一人一人を見つめ、今までに築き上げて来られた、生活があらゆる可能性を引き出しその人らしさ求め、寄り添い心の関わり心からの信頼関係をご利用者と一緒に笑顔が多く見られる様なグループにしたいですね。



養護

養護老人ホーム 主任 小林 浩幸

昨年に引き続き、~「その人らしさ」の暮らしを再現する~です。養護老人ホームは、ご利用者の要望・希望・ニーズの多様化に、そして「自分に正直である。」ことへの対応が求められ、『生活支援(見守り支援)』が重要になってきています。生活相談(生きるを支える援助)、生活支援(毎日を支える援助)、見守り・見届け(自立を支える援助)、これらを考慮しながらケアプラン・処遇計画を作成し「その人らしさ」の暮らしを実現するために、他職種間との連携を図りながらスタッフ一同取り組みで参りたいと思います。みなさま、ご協力お願ひいたします。



お花見会

サルビニアユニット 辻村 万希

普段、あまり外出をする機会が少ないご利用者の方々に、外の新鮮な空気を吸っていただき、季節を肌で感じていただくことを目的に、5月17日に、サルビニア・カトリックユニットでツツジ観賞に行ってきました。この日は、天候も良く、どちらかと言えば、5月なのに、暑いばらばらでした。

行き先は『鹿ノ台スポーツ公園』綺麗なつつじの花を観賞した後、帰り道に、登美ヶ丘イオンのフードコートでTeaタイム!!中には、せっかくなのでスーパードリンクなので、自分へのお土産と、お買い物をされたご利用者の方も…。

綺麗なつつじの花と、美味しいTeaタイムを満喫され、楽しいひとときを過ごされました。

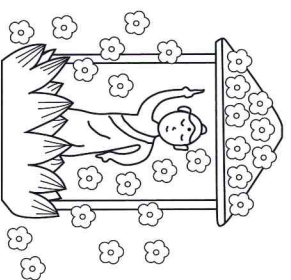


『滝寺花祭り』に参加して

サルビゴユニット 介護職 辻村 万希

4月28日、『滝寺花祭り』が開催されました。今年はお天気にも恵まれました。花祭りとは、お釈迦様の誕生をお祝いする行事のことで、同時に、私達の法人の施設が日頃お世話になっている皆様へ感謝の気持ちを表して毎年開催されています。法要の後、滝寺の敷地内には、各施設がそれぞれ、の趣向を凝らした手作りの模擬店がずらりと並び、『トリム・シアター〜みんなの広場〜』では、法人の職員が集まり、クラダンスのショーや劇などで、観客を楽しませていました。今年から、滝寺グラウンドり模擬店頂上決戦が企画され、接客態度などを評価し優勝チームや上位チームには空気清浄機などの豪華商品が貰えるとあって、模擬店での販売にも気合が入っていました。お陰で、焼きそばを販売した梅寿荘は優勝することが出来、初代チャンピオンに輝くことが出来ました。

お茶会

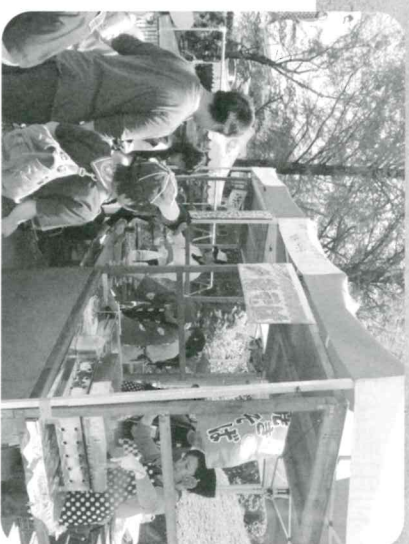


養護 小林 直人

4月6日芳野先生と社中の皆さんで「お茶会」が行われました。今回が初めてのお茶会ということもあり、掛け軸なども用意されており日頃とは違う雰囲気とお抹茶の良い香りを楽しめました。



花まつり



「健康体操」



医務室 今倉 澄子

「元氣な体をつくりましょう」「日常生活をスムーズに行える体づくりをしましょう」を目標に「健康体操」すすめています。これまであまり運動をやったことのない人にとって、運動は“きつい”というイメージが強く、運動を習慣づけることはとても難しいものです。梅寿荘では、仲間とともに若いころ大好きだった曲を大きな声で歌い、しりとり遊びで頭の体操をするなど、楽しく運動できる“人を惹き付ける”楽しく、明るい雰囲気になるように心がけています。



「瀬戸の花嫁」を歌って：
“瀬戸の前は、
40年前は、
みんな若かったね～！”



「高校三年生」を歌って：
50年前の曲ですよ！
“あ～あ～高校3年生～♪♪
“楽しいね～”



「か」の付くものは何でしょう？：
“手を挙げて大きな声です”
「かつをぶし」「カミソリ」
「かまぼこ」「かばん」「鏡」
「かきね」「傘」「カモメ」
「金持ち」……



「食中毒注意！！！！」



管理栄養士 堀井 倫子

梅雨が過ぎると、暑い夏がやってきます。夏は湿度も高く、暑さで体が弱っているので食中毒に注意です。夏場の食中毒として、サルモネラ属菌による食中毒、腸管出血性大腸菌（O-157）による食中毒、カンピロバクターによる食中毒、黄色ブドウ球菌による食中毒があります。

自身が食中毒にかかることを防ぐことも大事ですが、自身が保菌していた場合、他の人に広げないことが重要です。発症していなくても保菌している人が広めてしまうことがあります。下痢や嘔吐などの症状がある場合は調理をしない、職員がユニットの食事作りなどをする際は、検便でサルモネラとO-157の検査はされるので、検便を出して症状はないが保菌してないか検査をしてから調理に携わるようにしてください。

カンピロバクターは鶏肉や牛レバーの加熱不足で感染しやすいので、確実に中心まで加熱して食べるようにしてください。黄色ブドウ球菌は手指に怪我や傷がある場合そこに発生した化膿菌が食品につき、食品中で増殖し毒素を産生するので、手指に怪我をした人は、調理に携わらないか、手袋をして調理してください。菌自体は熱に弱いですが、毒素は熱に強いので食品に菌をつけられないことが重要です。

自身がかからないことと他の人に広げないように注意をしながら暑い夏を乗り切りましょう！！

おでかけ日記

あじさい・ひまわりユニット

喜多 智大



日本では暖房やこたつが大活躍する2月末から3月にかけて、一年中クーラーが大活躍する赤道直下の国、シンガポールに行ってきました。日本とは違う文化が、そこにはありました。

まず「英語」の文化。華僑が大半で中国の文化圏ですが、イギリス領だった事もあり、英語も話されます。しかし、はつきりと聞き取れませんでした。「シングリッ シュ (シンガポール・イングリッ シュ)」と呼ばれる、独特な発音をされるようです。

次に、室温の文化。どこに行っても、どの移動手段でも、寒いくらいクーラーが効いていました。シンガポールの風習では、かなり強めでクーラーを効かす事こそが、最善の「おもてなし」と考えられているようです。熱帯地帯なのでかなりジメジメしていましたが、長袖が必要不可欠でした。

スラップを起用した某携帯会社のCMで有名になった「ラリーナ・ベイ・サンズ」や、ローライオン、ブランドショップでのお買い物、美味しい多国籍料理、カジンなどが名物ですが、日本とはまた違った文化に触れてみては、いかがでしょうか？

NEW
STAFF

クアアネーシャ



中江 智美

在宅部門を勉強するよう施設長より命を受け、3つの事業所を経験し、約3年半ぶりに戻ってまいりました。まさに「浦島太郎」状態…ではあります。一日も早くご利用者やそのご家族の思いを理解し、お一人おひとりにとってより良いケアが提供できるプラン作りをよろしくお願いたします。

“梅寿荘 夏祭り”

H25年8月10日(土)
梅寿荘にて 17:30～19:30

例年通り

焼そば
そうめん
ヨーヨー釣り
など

屋台を出店しております！

ことぶき第67号

2013年7月 発行

編集後記

寿



表紙の行事
端午の節句・お餅つき

夜空にかかると美しい天の川を仰いで、よしない夢に思いをはせている今日この頃です。今回の季刊誌では、梅寿荘でのご様子を紹介させて頂いております。各ユニットの新年度の目標や春の行事「お花祭りやお茶会」等でのご利用者の元気で沢山の笑顔と楽しい一時を過ごしておられる様子を、皆様にもお届けしたく掲載させて頂きました。

また、梅寿荘ホームページとフェイスブックにも、その時々のご様子が掲載されておりますので、是非、ご覧になして下さい。

夏風邪などお召しなされませんよう、どうかお気を付け下さい。

編集スタッフ:今井康順、辻村万希、喜多智大、杉田和則、小林直人、栗本喜里仁